

平成 29 年度 第 2 回宮崎県立農業大学校外部評価委員会 議事録

平成 29 年度第 2 回宮崎県立農業大学校外部評価委員会の議事録についてお知らせいたします。

会議の概要

1. 日 時

平成 30 年 3 月 16 日（月）14:30～16:00

2. 場 所

宮崎県立農業大学校 会議室

3. 出資者

(1) 外部評価委員 6名

土屋委員長、黒木覚委員、松原委員、萩原委員、渡部委員、牛谷委員

(2) 県立農業大学校職員 9名

校長、副校長（総括）、総務課副主幹、農学科教授、畜産学科教授、アグリビジネス学科教授、教務学生課准教授（2名）、記録者（教務）

4. 議事の内容

【説明】今年度の実績と成果について（自己評価）

【協議】自己評価に対する学校関係者評価について

5. 要旨（委員からの主な意見）

昨年 7 月に全国農業大学校同窓会に参加したが、定員を満たしているのは大学校は 2～3 校しかない。ほとんどが定員割れしている中で、「宮崎が定員増なのはなぜか」と話題になったと報告があった。

九州管内の農業大学校では、どの県も定員割れているが、宮崎県だけ定員オーバーしている。全職員による県内の全学校への訪問や農業系学科を有する高校との意見交換会等、努力した結果だと思うので今後も続けてほしい。

生徒数が増えたが、先生達の教育体制に心配はないのか。一人一人への目配り気配りが厳しいのではないか。人数が増えたが、倍率が高くなり比較的優秀な学生が入ってくるため、意識の高い学生が増えている。

模擬会社（アグリカレッジひなた）について、課題に挙げられているが設立・販売はどのようにしているのかと質問に対し、専門家の指導を受け会社を作る前の会社法・財務関係を整えたと回答した。

施設老朽化について、特に体育館の整備については次年度予算措置を設けたいと前向きな意見を頂いた。

無人ヘリコプターの免許取得が出来ないか検討して欲しい。人材不足の中で、機械の力は必要不可欠であり、重要な意見として検討項目に入れたい。

学生の自治活動について、鍋合戦や即売会の他に外向けの活動は何かされているのか。

◇女子学生数の増加に伴う質問

女子学生数の増加に伴う女子寮対策について質問があり、新 1 年生 15 人が全員入寮予定のためとても足りない状況である。課題が山積みだが「早急に対応したい」と回答した。

農業法人に就職した女子学生は何人いるか。女性の雇用が難しいという実態の中ではあるが、女子農大生雇用の拡大に貢献したいと前向きな意見を頂いた。

平成 29 年度の実績と成果について、学校関係者評価より「承認」。